

ジャアナヒラタゴミムシ *Jujiroa ana* (S.Uéno)

【選定理由】

豊橋市の蛇穴を基準産地として記載された種で、東海地方の固有種であるが、近年生息の確認例が減少していることからランクを引き上げた。

【形態】

体長 12.5mm 内外。体色はアメ色で、複眼は退化傾向にあり、小さい。体型はやや細型で両側はほぼ平行。各脚はやや短くがっしりしている。

【分布の概要】

【県内の分布】

豊橋市（蛇穴）。

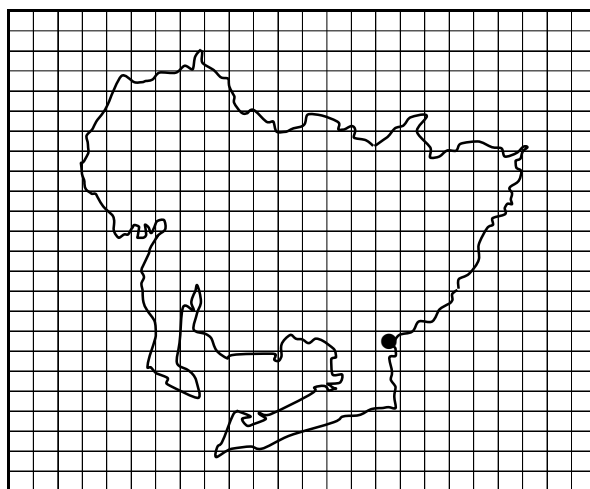
【国内の分布】

東三河ならびに静岡県西部。

【世界の分布】

日本の特産種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

洞窟あるいは、地中性。洞窟内部の石下などから発見される他、洞窟周辺の林床に設置されたベイトトラップで採集される。主要な生息地は地下浅層であると推定される。

【現在の生息状況／減少の要因】

基準産地の蛇穴ではこの 10 年ほど生息確認が途絶えている。隣接する新穴にも生息していると思われるが、現在入り口が閉鎖されており、また調査には高度なケービング技術を要するため最近の生息状況は未調査である。減少の要因としては、洞窟内部および周辺の森林の乾燥化による影響が考えられる他、マニアによる過剰採集やトラップの放置なども脅威となっている。

【保全上の留意点】

蛇穴の環境をこれ以上悪化させないこと、周辺の森林の乾燥化を防ぐことが必要である。蛇穴は縄文前期の遺跡があることから国指定の天然記念物に指定されているが、入洞に規制はない。今後各方面の関係者、専門家を交えて、洞窟動物の保全対策について検討する必要がある。

【特記事項】

東海地方の特産種であり、県内の絶滅は種の絶滅に直結する。東三河ならびに静岡県西部にかけて近縁の別種が記載されているが、本種と詳細な関連について十分な研究がされていない。

【関連文献】

S. Uéno, 1955. New cave-dwelling Anchomenids of Japan. Opusc. Ent., 20: 56-64., pl.1.
岩崎 博・蟹江 昇, 1990. 愛知県のオサムシ類. 愛知県の昆虫, (上): 309-338. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)